

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	内容や分量が本校生徒の実態にあっており、教科・科目の目標に適している。
	地理歴史	内容・分量ともに教科・科目の目標に合致しており、指導に適している。生徒にとっても学習しやすい構成になっている。
	公民	分量や内容が適切であり、教科の目標に合致している。生徒が理解しやすいように創意工夫がみられる。
	数学	本校生徒の実態に内容や分量が教科・科目の目標に合致しており、指導に適している。
	理科	内容や演習問題等の分量が教科・科目の目標や生徒の実態に合致しており、教科指導に適している。
	保健体育	程度が生徒の実態に即し、適当である。 内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	芸術	音楽：内容・分量ともに本校生徒の実態に即しており、科目目標に適している。 美術：印刷が鮮明で内容も系統的であり、科目の目標に適している。 書道：本校生徒の実態に即した内容および構成で、科目の目標に適している。
	外国語	コミュニケーション英語：英文の難易度が生徒の実態に即し適当である。また内容も生徒の興味を広げるものとなっている。 英語表現：配列や活動などが本校生徒の実態に合っており、科目の目標に適している。
	家庭	生徒の主体的学習を促すのに適した情報量で、教科・科目の目標にも適している。
	情報	内容や分量が本校生徒の実態にあっており、教科・科目の目標に適している。
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	
	商業	
	水産	
	家庭	
	看護	
	情報	
	福祉	